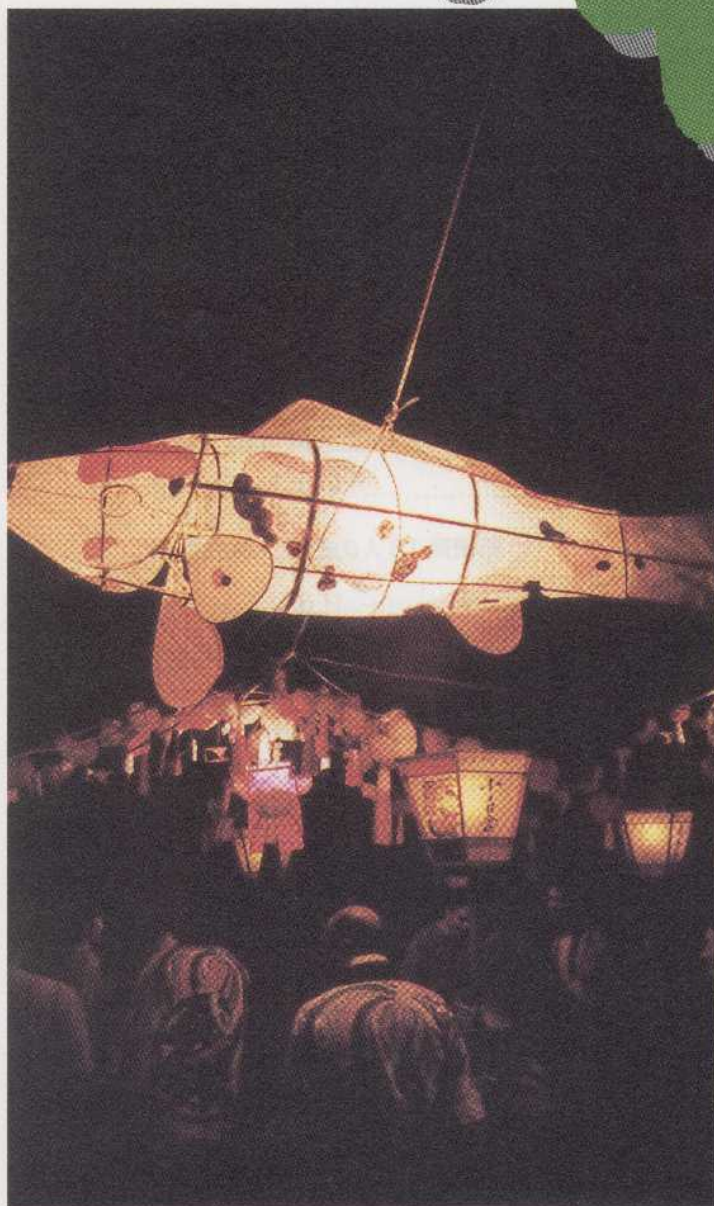


広報

かわいし

NO. 517

平成13年9月10日



これが
天下の奇祭だ！



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828

発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail:kawanisi@mail.tiara.or.jp (毎月10日発行)

URL <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

人口の動き

—9月1日現在—

男	4,084 (-3)
女	4,180 (-8)
計	8,264 (-11)
世帯数	2,303 (+1)

() は前月比較

新議員18人 決まる!

任期満了に伴う川西町議会議員一般選挙は、八月七日に告示され、定数十八人に対して二十人の立候補者があり、五日間の激しい選挙戦が展開されました。

投票は八月十二日（日）、町内十六か所の投票所で午前七時から



開票作業のようす

■投票結果■

	男	女	計
当日の有権者	3,229人	3,388人	6,617人
投票者数	2,873人	3,086人	5,959人
投票率	88.97%	91.09%	90.06%

有効投票：5,915票 無効投票：44票
〈参考〉前回4年前の投票率：91.03%

■開票結果■（敬称略）

当選	清水美代子	無所属現	383.266	票
当選	羽鳥輝子	無所属新	375	票
当選	古楽正実	無所属現	367	票
当選	村越勝蔵	無所属現	358.88	票
当選	小嶋武大	無所属新	332	票
当選	小林勝國	無所属新	322.103	票
当選	清水進	無所属現	320.733	票
当選	江口トク	無所属新	319	票
当選	大塚甚一	無所属新	318	票
当選	北村公男	無所属現	317	票
当選	金子澄男	無所属現	316	票
当選	押木貢	無所属現	315	票
当選	村越敬一	無所属新	264.119	票
当選	小林正夫	無所属現	261.896	票
当選	星名富一	無所属現	252	票
当選	戸田禎一	無所属現	248	票
当選	高橋一晃	無所属現	248	票
当選	丸山重信	無所属現	243	票
次点	上村晴夫	無所属現	190	票
	小海博	無所属現	164	票
どの候補者にも属さないもの			0.003	票
計			5,915	票

午後八時（一部午後七時）まで行われ、午後九時から総合センターを会場に即日開票されました。身近な選挙とあって、開票所には大勢の参観人が詰めかけ、熱気あふれる中で開票作業が行われました。

午後十時過ぎには大勢が決まりました。作業中は水を打ったように静まり返っていた会場も、中間発表のたびにどよめきがおこり、メモをとったり連絡に走る人の姿が多くみられました。

また。その結果、現職十二人と新人六人全員が当選しました。女性議員もこれまでの一人から三人に議席を増やしました。なお、各候補者の得票は開票結果のとおりです。

♠ 表紙の写真 ♠

小白倉のもみじ引きは、とても変わった祭りです。山からもみじの木を切り出してきて神社に奉納し、翌日引き倒して村中を引きずり回します。その際、子どもの誕生や結婚など、慶事のあった家々により込んでみんなで祝いを行います。ご祝儀の酒がふるまわれると気分も高揚し、天神ばやしの大合唱が村中に響きわたります。水も大事な要素で、子どもからお年寄りまで水をかけ合い、池や鯉の生けずがあれば、お互いに投げ込んだり引きずり落としたりして大騒ぎになります。

今年から、前夜祭の灯籠に錦鯉が登場しました。AAスクールの皆さんが制作したもので、えらが動く仕掛けもあり、子どもたちの人気をさらっていました。

— contents — 主な内容 — contents —

- P 2～5
- ⇒新議員18人の紹介・議会報告
..... P 6～7
- ⇒特集〈青い目の住民がいる夏〉
..... P 8～10
- ⇒介護保険・統計調査・水泳大会結果
..... P11
- ⇒おらムラの話
..... P12
- ⇒お寄せくださいあなたの意見
..... P13～15
- ⇒-topics-まちの話題・里創プラン
..... P16～17
- ⇒お知らせ・千手温泉・生涯学習
..... P18
- ⇒フォト散歩／ズームアップ役場
..... P19
- ⇒俳壇／くらしとけんこう ほか
..... P 20
- ⇒戸籍の窓／ちいさな展覧会 ほか

議会

報告

八月十二日に執行された川西町議会議員一般選挙結果に基づく最初の議会（第四回川西町議会臨時会）が九月三日、一日の会期で開かれました。

この議会では、議長、副議長をはじめとする人事が中心になり、各常任委員の構成員と委員長・副委員長、広域事務組合議員などが決められました。

これに先立ち、八月二十四日には、前任期の最後の議会（第三回川西町議会臨時会）が一日の会期で行われました。

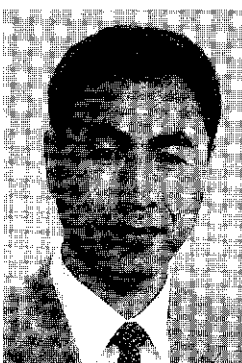
この日は、十日町高校野球部が甲子園出場を果たしたことに伴い、五十万円の助成をしたことなどの行政報告等のあと、平成十三年度川西町一般会計補正予算（第二号）が審議され、庁舎修繕工事費や臨時保育士賃金、里創プラン事業に伴う負担金など一、三五八万五千円の補正予算が、原案どおり可決されました。

このあと、総合的な克雪利雪対策及び水資源対策に関する調査、研究の件など、四件の発議案が上程され、原案どおり可決されました。

九月三日は、任期最初の議会であることから、日程に入る前に、

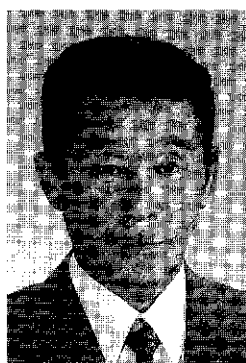
町長のあいさつ、議員の自己紹介、職員紹介、仮議席の指定などが行われました。

日程第一号で議長選挙が行われ、開票の結果、清水進氏が当選人と決まりました。



議長 清水 進氏

続いて副議長選挙が行われ、吉楽正実氏が当選人と決まりました。



副議長 吉楽正実氏

正・副議長選挙のあと、正式の議席が指定され、会期の決定、常任委員の選任、議会運営委員の選

任が行われました。

そして、常任委員会及び議会運営委員会の正・副委員長が、それぞれの委員会で互選されました。

常任委員会

委員長 副委員長

総務文教委員会

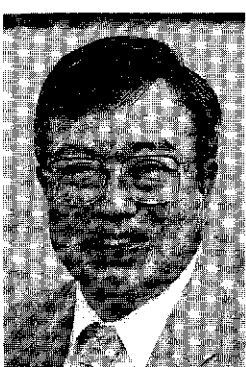


北村公男氏

北村 公男 小林 正夫

押木 貞 戸田 楨一
大塚 甚一 村越 敬一

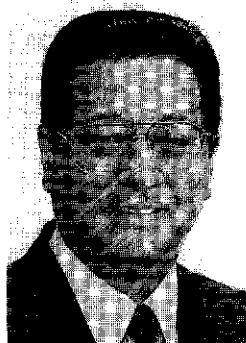
農林環境委員会



金子澄男氏

金子 澄男 泉名 富一
丸山 重信 高橋 一見
小嶋 武夫 羽鳥 輝子

建設住民委員会

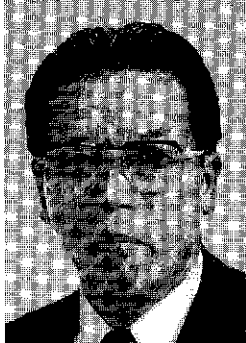


村越勝蔵氏

村越 勝蔵 清水美代子
清水 進 吉楽 正実
江口 トク 小林 勝國

議会運営委員会

委員長 副委員長



星名富一氏

星名 富一 小林 正夫
吉楽 正実 北村 公男
金子 澄男 村越 勝蔵

さらに、次の議会人事が決まりました。

■十日町地域広域事務組合議会議員

押木 貞 高橋 一見
村越 敬一

■十日町地域衛生施設組合議会議員

清水 進 金子 澄男
星名 富一

また、次の委員についても議会の同意が得られました。

◆川西町監査委員

戸田 楨一

◆川西町教育委員会委員

金山 有紘

◆川西町農業委員会委員

清水美代子 丸山 重信



初議会のようなす

私たちが 新しい議員です。

九月一日から任期が発生した川西町議会議員の皆さんを紹介します。

激しい選挙戦を制して晴れて町議会議員に当選された皆さんですが、川西町には、高齢化に伴う保健・医療・福祉事業の高度化や地域産業での新しい動き、環境や教育の問題、さらには市町村合併という多くの課題が山積しています。

こうした課題を前に、議会議員としてどういう取り組みをしたいのかを、表向きの話だけでなく、個人としての横顔も含めてうかがいました。

有権者一人ひとりが選んだ議員の皆さんの、これからの四年間のご活躍にご注目ください。

(議席順／敬称略)

- 一 血液型
- 二 好きなもの(こと)
- 三 嫌いなもの(こと)
- 四 得意なこと
- 五 議会人として取り組んだこと

羽鳥 輝子 五十一歳 木落



- 一 O型
- 二 誰とでも話をする
- 三 お酒が飲めないこと
- 四 短時間で簡単なおかずを作る
- 五 ①お年寄りも、障害者も、子どもたちも共に暮らせる社会づくり。

小嶋 武夫 五十二歳 新町新田



- 一 A B型
- 二 園芸、スキー、ゴルフ
- 三 筋の通らぬこと?
- 四 前向きなこと?
- 五 農業関係

①コシヒカリに続く川西町の特産品の開発と、転作を含め畑作の特産物の安定化。
②川西町の中で少しでも収益を得るための活動。

小林 勝國 五十七歳 中仙田



- 一 B型
- 二 読書(歴史書)
- 三 時間が長い会議
- 四 盆踊りの音頭取り(修行中)
- 五 外国産に負けない、この産地だけの特色ある農産物・特産品の開発。

村越 敬一 五十八歳 野口



- 一 O型
- 二 旅すること
- 三 迷惑をかけること
- 四 一
- 五 ①教育設備の充実と教育の見直し。
②道路の整備と地場産業の育成。
③老人医療と福祉の充実。

江口 トク 五十九歳 野口



- 一 O型
- 二 ①漬け物
②心ゆくまで友人と語り合うこと
- 三 ①レバー
- ②いつまでも物事にこだわっていること
- 四 家庭料理(いつも味が薄いと いわれますが)
- 五 ①住民の皆様と対話を重ねて町のことを学びたい。
②子どもたちが澄んだ目のまま成長し、町の大切な人材となるよう応援したい。

大塚 甚一 六十三歳 高原田



- 一 O型
- 二 魚の料理・岸壁からの海釣り
- 三 特になし
- 四 特になし
- 五 住民の意思をしっかりと聞きとり、議会の中で実践したい。

高橋 一晃 六十二歳 坪山



- 一 A B型
- 二 スポーツ鑑賞、旅行
- 三 人様のことをこそこそそうわさすること
- 四 特になし
- 五 住民の小さな意見にも耳を傾け、公の場で発言したい。

清水美代子 五十三歳 上野



- 一 B型
- 二 ①花を植えて育てること
②人とふれ合うこと
- 三 ①蛇、虫類
②陰口や人を傷つけること
- 四 気分転換が早いこと?
- 五 ①地域の資源を生かした活力ある町づくり。
②誰もが安心して暮らせる町づくり。

小林 正夫 五十四歳 木島



- 一 O型

二 町づくりイベントなど

三 じっとしていること

四 もの作り(工作等)

五 個性豊かな(楽しく元気な)まちづくり。

①商工業の活性化及び特産品の掘り起こし。

②生ゴミ堆肥活用等による有機農業の推進。

③若者のスポーツ振興(全日本モトクロス)。

④高齢者の生きがい対策。

⑤議会の活性化。

戸田 禎一 五十五歳 仁田



一 A型

二 ?

三 金権力の強い者が勝ち、文句を言う者が得をし、知らない者が損をし、正直者がバカをみる世の中

四 ?

五 ①第五次川西町総合開発計画の推進。

②第四次川西町行政改革の推進。

③地方分権に対応した「まちづくり条例」の制定。

④市町村合併問題について。

⑤開かれた議会(土、日開会や資料公開、状況放送等)。

⑥開かれた行政(各公民館への行政資料配布等)。

⑦農業立町 川西町は生き残れるか。

⑧議会事務局スタッフの充実(政策調査スタッフの増員等)。

丸山 重信 六十二歳 根深



一 A型

二 農産物を育てる(稲・野菜)

三 一日中机に向かっていること(身体を動かさないとダメ)

四 特になし

五 ①農業立町にふさわしく、今一歩元気な農業にしたい。

②住民と行政のパイプ役に徹する。

村越 勝蔵 五十七歳 野口



一 A型

二 錦鯉養殖、ゴルフ

三 特になし

四 何事も一所懸命努力すること

五 十年、二十年先を見ながらの住みよい地域づくり

星名 富一 六十九歳 沖立



一 B型

二 ①そば食

②努力が実ったとき

三 ①酔の物

②勝負は別として、喧嘩

四 物事によっては、一つのこと

五 ①住民の生活環境に差がなくな

るような各種整備政策に取り組む。

②行財政改革

・職員の住民への応接向上と作業効率のアップ。

・赤字運営部門整理。

押木 貢 五十八歳 元町



一 B型

二 読書、レコード鑑賞

三 他人の中傷

四 学校教育関係、国際友好、マレーシア語、インドネシア語

五 ①議会の活性化。住民の目で公平等になるようにしたい。

②川西町のすみずみが皆玄関。それぞれの地区の特色を生かし

たまちづくり。

③子ども、お年寄り、嫁婿問題等、表に声を出せない方々のために働きたい。

金子 澄男 六十四歳 岩瀬



一 A型

二 読書

三 特になし

四 一度会った人を記憶している

五 ①誰とでも平等に接し、行政と住民のパイプ役となる。

②青少年の健全育成。

③中山間地農業の振興と充実を図り夢のある農政としたい。

北村 公男 五十六歳 山野出



一 B型

二 農業

三 住んでいる地域を悪く言うこと(卑下すること)

四 農業機械の運転

五 冬期間、どの家の玄関先からも、あまり除雪や道踏みをする

ことなく出られるよう、道路整備に取り組みたい。

吉楽 正実 五十八歳 高原田



一 A型

二 山菜採り、骨董品鑑賞

三 特になし

四 スポーツ

五 ①克雪対策の推進

②若者の定住促進による町の活性化。

③明るい健康な福祉の町づくり。

④議会の活性化と住民ニーズに応えること。

清水 進 五十三歳 朝日町



一 O型

二 日本史を読むこと

三 人間向上がいがい合うこと

四 特になし

五 市町村合併のテーマについて、川西町全町民がこぞって賛

同できるよう、情報収集に努めて町民の皆様提供し、この問題が町民にとって有益なものとなるよう努めたい。

特集

青い目の住民がいる夏

白倉地区は夏になると住民が増えます。それも、青い目や金髪の人たちも混じる約二十人の集団です。

白倉交流センター（旧白倉小学校）を拠点に合宿生活を送り、地形や民家を調べたり、集落行事や作業を手伝ったりしながら地域との交流を深めています。彼らは、イギリスにある建築系大学の学生とその関係者で、三週間あまり滞在して様々な活動を展開していますが、受け入れる地域にとっても、夏のパートナーとしてなくてはならない存在になっています。六年目に入った活動と交流の姿を取材しました。

AAスクール (Architectural Association)

世界的に有名な建築系の大学。150年以上の伝統があり、英国でも最も古い。独特の学習システムと高い指導レベルで、世界各国から学生が集まる。著名な建築家を数多く輩出しており、日本からの留学生も増えている。他大学卒業後や、社会人を経験してから入学する学生も多い。

プのゲートボール場草刈りの手伝い、バレーボールの交流試合、夏祭りの全面参加などを通して地域とのつながりを深めています。

また、バス待合所や東屋などの公園整備、水飲み場や新しい祭り灯籠の制作など、地域で必要としている施設や設備を、全員で協力しながら作っています。

地域の人たちも彼らを自然に受け入れ、野菜や米などの差し入れをしたり、自主的にホームステイの受け入れなどをするほかは、夏の間の住民として受けとめています。特別扱いしないことがいい関係を保つ秘訣のようです。

六年目を迎えたワークショップの現場を見てみましょう。

大地そのものがアート

白倉でワークショップをやる

ようになったいきさつは？

江頭教授 ふだん、学生たちは理論を学ぶ場において、人と関わったり生の現場を体験することはありません。そういう「場」で勉強できる所を探していたところ、こちらを紹介され、お世話になることにしました。六年前のことです。

ここは、役場や集落の人たちが協力的で、継続して受け入れてくれているのでありがたいです。

——どんな活動をしているのですか？ 白倉の魅力は？

江頭教授 簡単にいえば、大地の成り立ちや人の生き様を学んでいます。白倉は、そういうことを体験しながら学習するの理想的なところですね。地形、自然、集落、民家、コミュニティ、人の魅力、そういったものがすべてそろっていて、大地そのものがアートといった感じです。こういう所は、ヨーロッパではもうあまりなくなっていますし、日本でも希少なじゃないでしょうか。

AAスクールで学ぶ学生の多くは建築家を目指しています。あつう、建築の仕事というのは、予算、場所、時間が決まっています、それに合わせてモノを作っていく必要があります。でも、いきなり図面を引くようなやり方ではなく、もっと広く地域や住んでいる人たちをとらえて、自由に、大きなスケールでものを見る目を養ってほしいと思っています。つまり、「考える建築家」になってほしいのです。

実社会ではなかなか難しいこと



竹で部材の模型を作り、さらに議論を重ねます

ですが、学生だからそういう体験が可能だし、必要なことだと思っています。現状の大学のカリキュラムではそういうことが不可能なので、こちらで学ばせてもらっています。

——建築家の卵として、ここで何が学べるのでしょうか？

江頭教授 たとえば、小白倉の集落は、どうしてあれだけ密集しているのか、どうして隣の谷でなくこの谷に集落が形成されたのか、こちらの斜面に住宅があつてあちらの斜面に住宅がないのはなぜか、この道はなぜこのルートで切られたのか、などは大きなスケールでみていくと、必ずそれぞれに深い理由があることがわかります。



「最低十年間はこのワークショップを続けたい」という江頭教授

す。

災害防止や自然利用の知恵の集大成として、今の姿があることを学び取ることが出来ます。

土の性質が地形や植生を決めたり、浜海川の水の色に、山の上の土が大きく影響していることなども、大変興味深い大地の営みです。建築家をめざす者にとって、こ

うした、大地や人の営みを学び取る姿勢や目を養うことが、技術を学ぶ前にしなければならない最も重要な事柄だと思います。



真しもなまなを受ける指導人の職官左
そのもの剣

これまでの歩みと今年のテーマを教えてください。

江頭教授 最初の年は、まず地形の読み取りをしました。二年目は、地域の要望もあってバス待合所を制作しました。現在も少しずつ手を加えています。三年目は公園の整備計画と設備の一部制作、四年目は東屋の制作、五年目は練炭ス

トープづくりと水飲み場の整備をしました。そして今年は「眠る空間」としてキャンパス白倉（旧白倉小学校）の中に、竹を利用した宿泊室と可動式休憩室を制作しています。これらは、そのほとんどを地元の素材を使い、伝統的な工法を学びながら作っています。地域の方々の協力も大きいですね。

未来的な体験

——参加している学生さんたちにも話をうかがってみました。このワークシヨップに参加した理由は？そして、その感想は？

エドワルド（ベルギー／21歳／男）

都市で生活しているのですが、違う環境に身を置いてみたかったし、慎（江頭）さんのやっていることに興味がありました。

ここは、開放されていて都市のプレッシャーがなくていい。楽しくて、つい夜飲み過ぎてしまつて朝がつらいのが難点（笑）。

クリストフ（ドイツ／23歳／男）

以前から日本に興味があり、白人の人たちのライフスタイルを知りたいと思いました。

この人たちはみんな親切でオープンマインドです。来る前から地元との交流の話は聞いていましたが、ここまで深いつながりができるとは思っていませんでした。もみじ引き（夏祭り）の準備なん

かを手伝っていると、村の一員になったようで、とてもグッドです。ルイサ（コロンビア／27歳／女）

そう、外国人がここまで歓迎されると思っていなかったのですが、結構です。集落の人たちも、私たちとの交流を同じように喜んでくれているのが伝わってきて感激します。ここには、「知恵とか経験」とか、現代人が忘れてしまっている生活感、人として生きるための大事な要素がたくさんあります。ある意味で未来的です。

クリストフ ただ、あまり楽しいので、ワークする時間が足りないよ。もっとハードにやってもいいのにな（笑）。

西尾健理（日本／26歳／男）

僕は子どもの頃からイギリスに住んでいて、日本のこともヨーロッパのことも中途半端にしか知らないもので、日本人として上のおいを感じたくて参加しました。感想は、みんなと同じです。特に神輿を担いだ時には舞い上がりましたね。

高尾雪野（日本／20歳／女）

私は東京芸術大学からの参加ですが、思った以上に地域の人たちが親切で、楽しい体験になりました。

ダニエル（スコットランド／23歳／男）

僕としては、この事業に役場が関わってくれていて、きちんとした依頼主があることがうれしい。遊びではなく、責任ある

仕事として経験できることが大きい。ただ、やるが多くて時間が足りないのが困るな。

マリア（ギリシャ／24歳／女）

しつこいの塗り方などに共通性があり、それほど自分の国と文化的な差があるとは思っていない。すべてを楽しんでいます。ただ、蚊には悩まされますね（笑）。

サム・リウ（台湾／26歳／男）

二回目の参加です。大工の仕事など、日本の伝統的な技に興味があって続けています。この体験はとても刺激的ですね。「東京でない日本」を知ることができたのも良かった。

山田尚美（日本／23歳／女）

私も二回目の参加ですが、一泊でスボット参加する予定が全日程終了までいることになりました。なつかしい生活感がこの魅力です。

白倉はIT先進地

——受け入れている地域の人たちはどんな感想なのでしょうか。

最初は、何だこつてら変な感じがしたけど、今じゃ、おらどこの野菜を喜んで食ってくいらんが張り合えだて。（六十代男性）

もう、空気みてな感じになりましたね。お互いにそこに居らんが当たり前。（五十代男性）
もみじ引きも、彼らがいるんだんがでつけ木を切りいらんだて。



参加で、地域とのつながりが一層深まります

今年は、今までで一番でかい木を切ってきた。（四十代男性）

祭りもふだんにぎやかになりました。なんか遊び相手が増えたみたいです。（五十代女性）

学生たちとその後連絡をとるために、何年も前から電子メールを始めた子どももいます。白倉が一番インターネット接続率が高いんじゃないですか。（四十代男性）
皆さんが、地域の人たちと協力しあつて研究や施設整備をすることは意義があると思っています。今年の宿泊室整備で、さらに拠点性が高まり、交流活動が一層進んでくれればありがたいです。（施設を管理する役場開発課）

——国際化・交流という名のもとで、各地で様々な催しが行われていますが、単発で表面的なものが多い中、真の国際交流の姿がここにはあると感じられました。

みんなで育てる 介護保険 かいごほけん

介護サービスの利用が みんなの笑顔に

介護サービスの利用により、介護される人はもちろん、介護する人や家族にも安心と笑顔がひろがっています。

川西町の介護サービス利用状況

第1号被保険者の約1割の人が介護サービスを利用しています。

第1号被保険者数(人)	2,312
要介護・要支援認定者数(人)	268
介護サービス利用実人数(人)	203
利用率(%)	75.7

※平成13年6月

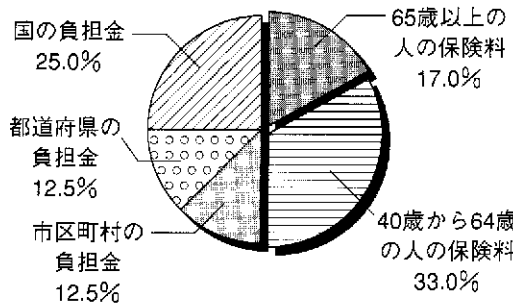
平成13年6月の利用状況(在宅・施設)

	在宅	施設	計
利用人数(人)	129	75	204
構成比(%)	63.2	36.8	100.0
費用総額(千円)	11,277	24,452	35,729
構成比(%)	31.6	68.4	100.0
1人当りの費用額(円)	87,419	326,027	175,142

介護保険の安心は みんなで支えています

介護保険制度を運営するその財源の半分は公費(国、都道府県、市区町村)、残りの半分为六十五歳以上の第一号被保険者と四十歳から六十四歳の第二号被保険者が負担をし、制度をみんなで支えあうシステムになっています。

介護保険の財源



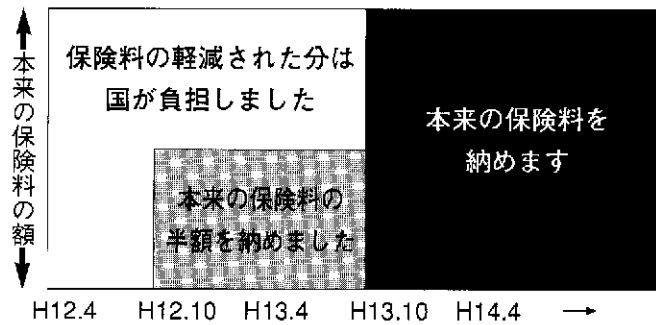
十月から保険料が 満額(本来額)徴収に なります

六十五歳以上のみなさんについては、これまでの制度に慣れていたため、また安心して介護サービスを利用していただくために、保険料の負担は特別対策が実施されていました。

●平成十二年四月から九月までの

半年間は保険料の負担が必要ありませんでした。
●平成十二年十月から平成十三年九月までの一年間は本来の保険料の半額を納めました。
●そして、平成十三年十月からは本来の保険料の額を納めることになります。

平成12～14年度の65歳以上の人の保険料の額



保険料は所得に あわせて決められます

納める保険料は私たちの所得によって段階別に区分されます。また、低所得の人に困難な負担とならないような措置もとられています。あなたの保険料はいくらでしょう？

※所得段階は変わる場合があります

平成十二年の所得により、十三年度の所得段階が変更になる場合があります。そのために、所得段階が確定するまでは前年度(二月と)同じ保険料額を納めることになり

	← 保険料が軽減されています →				
	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階
	生活保護の受給者、 高齢福祉年金受給者 (住民税世帯非課税)	世帯全体が 住民税非課税	本人が 住民税非課税 (住民税世帯課税)	本人が住民税課税 で合計所得金額 250万円未満	本人が住民税課税 で合計所得金額 250万円以上
	基準額×0.5	基準額×0.75	基準額	基準額×1.25	基準額×1.5
平成13年度(年額)	12,300円	18,500円	24,600円	30,800円	36,900円
平成14年度(年額)	16,400円	24,600円	32,800円	41,000円	49,200円

ます(仮徴収)。その後は前年の所得をもとにした保険料から仮徴収分を除いた額を納めます。
老齢(退職)年金の受給額によって納め方が違います

六十五歳以上のみなさんは受給している老齢(退職)年金の額によって保険料の納める方法が特別徴収と普通徴収に分かれます。

年額が18万円以上	いいえ	はい
普通徴収	送付される納付書に基づき保険料を個別に市町村へ納めます	特別徴収 保険料は年金から差し引かれます

※こんなときは普通徴収になります

受給している年金の額が十八万以上の人でも、次の場合は普通徴収で納めます。

●六十五歳になった年度(納め始めた年度から翌年度九月まで)。

●年度の途中で他の市町村から転入してきたとき。

●年度の途中で所得段階の区分が変更になったとき。

●年度の初め(四月一日)の時点で年金を受給していなかったときなど。



10月1日は、 事業所・企業 統計調査。

10月1日、全国一斉に事業所・企業統計調査が行われます。

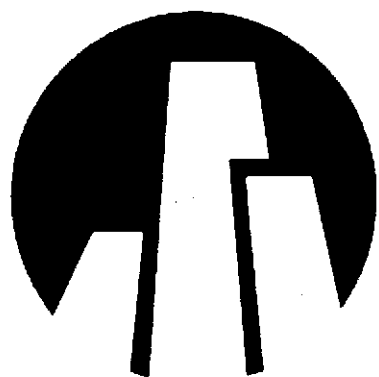
我が国すべての事業所が対象です。

この調査は、国勢調査と並ぶ国の最も基本的な統計調査の一つで、事業所や企業について産業別や従業者規模別の基本的構成を、全国、都道府県、市区町村別に明らかにすることがねらいです。

このため、店舗や工場、会社をはじめとして、学校、病院、神社など、あらゆる種類の事業所をもれなく調べることにしています。

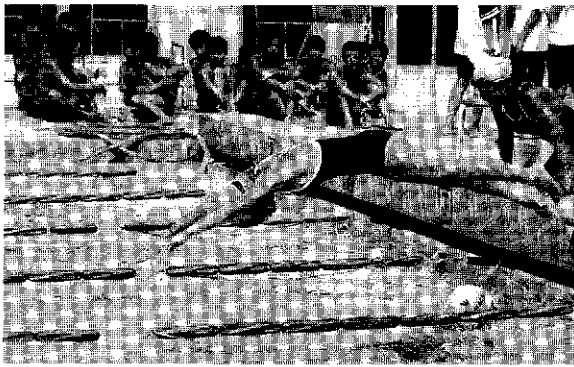
調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の立案や民間における事業計画等の策定の基礎資料として、多方面に利用されます。

9月下旬から調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。



会社も、お店も、学校も、病院も。

**事業所・企業
統計調査**



見事な飛び込みも随所に見られました

第31回 町内小学校 親善水泳大会結果

8月1日、千手小学校プールで熱戦が繰り広げられました。真っ黒に日焼けしたスイマーたちは、100分の1秒の差で勝敗を分けるほどの接戦ぶり、練習の成果を十分発揮できた子、涙をのんだ子も最後はみんながはつらつとして、たくましささえ感じられました。

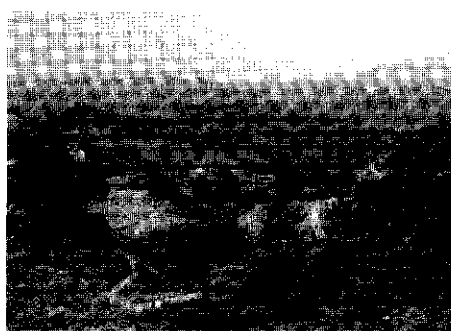
※は大会新記録

5 年 男 子			5 年 女 子		
自由型25メートル			自由型25メートル		
①田村龍平(上野)	②川崎茂人(千手)	③水落啓介(橘)	①野沢法子(橘)	②丸山晴香(橘)	③大久保茶月(橘)
自由型50メートル			自由型50メートル		
①稲田 岳(千手)	②酒井晴基(橘)	③南雲 斎(千手)	①山口友紀(橘)	②櫃間香帆(千手)	③羽鳥絵里加(橘)
自由型100メートル			自由型100メートル		
①南雲 斎(千手)	②小林航平(千手)		①小川佳美(千手)		
平泳ぎ50メートル			平泳ぎ50メートル		
①中條和成(仙田)	②登坂拓矢(仙田)	③登坂裕和(仙田)	①星名叶恵(千手)	②酒井久実(千手)	③樋口奈央(仙田)
平泳ぎ100メートル			平泳ぎ100メートル		
①太田 渉(千手)	②稲田 岳(千手)	③平野聖士(千手)	①丸山葉都美(橘)	②星名叶恵(千手)	③酒井久実(千手)
背泳ぎ50メートル			背泳ぎ50メートル		
①田村祐馬(上野)			①羽鳥絵里加(橘)	②水落彩乃(千手)	
バタフライ25メートル			バタフライ50メートル		
①登坂拓矢(仙田)	②増田隼人(仙田)		①小川佳美(千手)		
個人メドレー100メートル			200メートルリレー(50M×4)		
①太田 渉(千手)			①千手Aチーム	②千手Bチーム	③仙田チーム
200メートルリレー(50M×4)			200メートルメドレーリレー(50M×4)		
①千手Bチーム	②橘チーム	③上野チーム	①千手Aチーム	②千手Bチーム	
6 年 男 子			6 年 女 子		
自由型25メートル			自由型25メートル		
①金子竜美(上野)	②若山翔矢(上野)	③小林則広(千手)	①清水亜沙美(千手)	②茂野真子(仙田)	③村越千恵子(橘)
自由型50メートル			自由型50メートル		
①春日大輝(千手)	②工藤祐也(千手)	③高橋倫平(千手)	①高橋 舞(千手)	②丸山理加(橘)	③小海菜奈(上野)
自由型100メートル			自由型100メートル		
①佐藤英之(橘)	②村越俊介(橘)	③野沢貴宏(橘)	①蔵品あゆみ(千手)	②蔵品京子(千手)	③田村知佳(千手)
平泳ぎ50メートル			平泳ぎ50メートル		
①貴田大地(千手)	②丸山夏輝(千手)	③関口 誠(千手)	①丸山範子(千手)	②蔵品麻弥(千手)	③南雲春佳(千手)
平泳ぎ100メートル			平泳ぎ100メートル		
①相崎祐輝(千手)	②清水佑樹(千手)	③保坂拓実(千手)	①丸山範子(千手)	②蔵品麻弥(千手)	③田村沙織(千手)
背泳ぎ50メートル			背泳ぎ50メートル		
①山家成幸(橘)	②野沢貴宏(橘)	③高津好孝(橘)	①押木優花(千手)	②渡辺響子(橘)	③中村彩也香(橘)
背泳ぎ100メートル			バタフライ25メートル		
※①佐藤英之(橘)	②相崎祐輝(千手)		①星名美佳(千手)	②小海菜奈(上野)	
バタフライ50メートル			バタフライ50メートル		
①涌井智仁(橘)	②田口裕也(橘)		①星名美佳(千手)	②丸山理加(橘)	③藤巻友佳(橘)
バタフライ100メートル			個人メドレー100メートル		
①村越俊介(橘)			①高橋 舞(千手)	②渡辺響子(橘)	
200メートルリレー(50M×4)			200メートルリレー(50M×4)		
①橘Aチーム	②千手Aチーム	③千手Bチーム	①千手Aチーム	②橘Aチーム	③千手Cチーム
200メートルメドレーリレー(50M×4)			200メートルメドレーリレー(50M×4)		
①千手Aチーム	②上野チーム	③仙田チーム	①千手Aチーム	②千手Bチーム	③橘チーム

一郷一村の仙田村

松之山町の深坂峠から下った山あいには、松之山町・仙田郷・小国郷を育て、長岡市の長牛橋近くで信濃川に合流する。延長七〇・六といわれている。

昔は、吉田郷の中に含まれていたとも伝えるが、東に関田山脈と向かいあい、西に八石山山脈を背負って、真ん中を洪海川が貫流するという独特な地形環境にあるので、俗に仙田郷と呼びならされてきた。



「悠久」を感じさせる仙田の山なみ

正保二年（一六四五）に作成された越後絵図によると、桐山・小脇・高倉・霧谷・藤沢・室島・田戸・中仙田・赤谷・岩瀬・大倉・大白倉・小白倉・大貝の十四か村が載っており、石高も別記され、高田藩主松平越後守（光長）の領地とある。

既にあつたはずの越ヶ沢が見えないけれども、田戸に含まれていたのではないかと思われるし、別に仙田村の名も書き込まれている。このころまで、十四か村（または十五か村）がそれぞれ単独の村として扱われていたようである。

有名な高田藩のお家騒動と呼ばれる事件があつて、頸城・魚沼・刈羽・三島など二十六万国余を支配していた松平光長家は潰され、その後は、いくつかに分割支配された。事件のあと、遺領は幕府の命令で実地調査が行われ、天和三

四二には、仙田村をとりまくように古田・千手・上野地区の二下か村が白河藩松平定賢の領地となつた。

以来、一郷一村としての仙田村が昭和年代まで継続するわけである。

仙田という呼び名

「みたこや」という古い地名らしいものがあつたようだが、室島あたりの呼び名ではなかったかと教えられたことがあるけれども、まったく見当がつかない。

おらうらの話

（第五回）

上野 上村政基

年（一六八三）検地帳がまとめられた。このときの十五か村は、従前どおり別個に扱われて、仙田村の名は表面に出ていない。

享保九年（一七二四）に、会津藩松平正容の預かり領として仙田村の名が公的に出てくる。あるいは、これより先の幕府預かり（天領）の時代に十五か村を一括しての仙田村が確立していたのかも知れない。

すでに、永正三年（一五〇六）の節黒城主上野家成議状に「千田口」地名があるので、仙田の通称はずっと古いものであることが分かるし、さらに、寛保二年（一七

新潟市の高岡功さんという研究者が、昭和五十年代に犬伏から室島までの間を何度も足を運んで修験道の痕跡を調べたけれども、まともなうちに亡くなられた。

室島の相国寺の前身が、犬伏の松平山の下にあつたというのが、研究のキツカケであつた。いくつかの収獲があつたと喜んでいたので、残念なことである。

山が深いので、木や萱がたくさん採れて、馬に千駄も積めるところだから、センダの呼び名になつたという説がある。また、千駄の萱を山と積んで焼き、雨乞いをし



木立に囲まれる相国寺

たともいう。しかし、郷の総称が仙田で、その中央に中仙田があることからすると、とても考えられる話ではないようである。

過疎からの脱皮

まとめて仙田村と呼ぶようになって、庄屋・組頭が定められた。しかし、十五か村であつたことや、それぞれが独自の成り立ちを持っていることから、集落ごとに内組頭が置かれてムラのまとめ役にあつていった。

同じような大村である中条村にもこのような例があり、里地の庄屋と山地庄屋が任命され、ムラごとに帳代を置いていた。軒頭と呼ぶところもあつたが、ムラのまとめ役であり、非公式な組頭に相当する立場にあつた。

ムラの開発に関係していたためか大地主・中地主の力が強く、ムラごとの立場や権利を守る気持ち

が固かつた。そのために他郷とはひと味ちがう気風が醸成されており、個々のムラ意識や仙田郷を総括しての気構えが強くあつた。

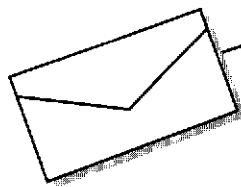
昭和三十年代から離村が多くなり、残念ながら県内でも有数の過疎地に挙げられている。しかし、明治の仙田村は、新潟県で最高の人口を持つ大村であつたことを、思い出してほしい。

明治新政で、次々と新しい地方行政が進められるようになると、ちよんまげ時代のように自給自足・点張りの村々では、とても財政面で応じられなくなってしまう。そこで、国・県の強い指導で、大がかりな町村合併が、二十一年と三十四年に実施された。

しかし、その動きの中で、仙田村は旧米と変わらなく、一郷一村を継続してきた。

明治二十二年には、それまで新潟県下で五〇八町四、〇八五村あつたものが、合併して一市四六町七六九村に整理された。この村々の中で、仙田村は九〇二戸・五、七一〇人という県下第一の村だつた。いろいろな事情が重なって、仙田郷からは大貝・桐山・霧谷・藤沢・越ヶ沢がなくなってしまう。現在は十集落で構成されている。

七月十五日にオープンした、仙田体験交流館「キラリ」の利用をキツカケにして、地域全体の発展を願うのは私だけのことではない。



お寄せください あなたの 意見・提案・質問

町では、皆さんの「意見や」提案をまちづくりに生かしていきたいと、「まちづくりに関する」の「意見や」をいただいています。これまでに届いたものの中から、差出人が明らかなものや、紙面で回答する必要があるものを、内容を抜粋してご紹介いたします

みのり団地に公園を！

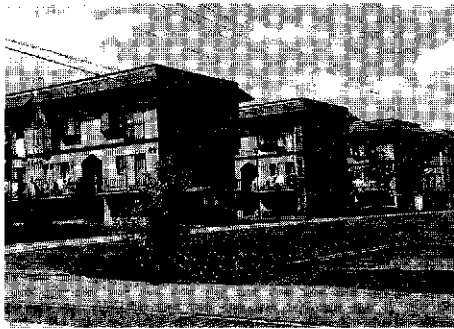
(33歳・女性)

①みのり団地は公園が未整備で空き地は草が生え放題だ。

団地内に小さな子どもがどんどん増えていることから、交流の場として、入居当初のあった公園を作ってもらいたい。

みんなでつくる住みよい町内

①現在、町営住宅への入居希望者は若い世代が多く、みのり団地も三十世帯のうち、ほとんどが若い世代の入居となっています。



若い世代の入居が多いみのり団地

このことから、町では、子供たちの遊び場や町内の方々の交流の場が必要と考え、団地内に「オーブンスペース」（公園）として建物周辺及び、一号楼と二号楼の間の整備を平成十年度に行いました。

内容としては、ベンチや遊具、ステージ、樹木、草花類などを配置していますので、現状のものを積極的に利用していただけたらと思います。ただ、遊具はシーソー二基だけです。

清掃、除草などの維持管理につきましては、自分の持家であれば誰もが家の周辺の管理は個々にやられていると同様に、みのり団地にお住みの皆さんからも、自主管理をお願いしたいところです。

また、今後、現在の施設の変更や、遊具の増設等の必要性が出てくるかと思っています。

その際は、事業費を全額町が支出することは非常に厳しい状況にありますので、町内で組織づくりのうえ、自主的な取り組みに対して助成する「まちづくり活動支援事業」等を活用して整備し、みなさんで協力して住みよい町内にしたいだければ幸いです。

割りばしリサイクルは？ 危ないカーブを直して！

(67歳・男性)

①町ぐるみで、使用済み割りばしを集める運動を推進してはどうか。資源（ごみ）となり、その分排出するごみが減量される。

②県道小千谷十日町津南線・新町新田地内のカーブが危険。早期に

改良を進めてほしい。

使用済み割りばしは資源

①使用済み割りばし利用の例として、炭として活用しているところもあるようです。

他にも考えれば様々な利用があると思います。

町ぐるみで再利用の運動を推進してはどうか、というご意見ですが、ごみの再利用に対する意識高揚が図られることから、大変良いことだと思います。

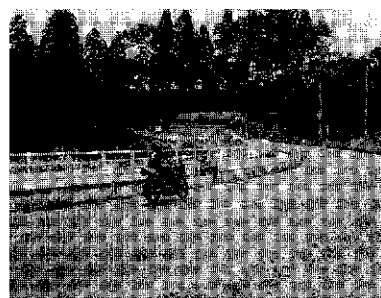
町としては、割りばしを多く使用する飲食店をはじめ、関係する団体などに割りばしの再利用について呼びかけをするともに、再資源化について検討してみたいと思います。

順次改良を進めます

②県道小千谷十日町津南線・新町新田地内のカーブについては、カーブがきつく、また、急勾配のため見通しが悪く、冬期には凍結などにより車の通行に支障をきたしている現状があります。

このことから、県及び十日町土木事務所に改良の要望を続けているところです。

この路線では、野口・原田地内の改良舗装工事が、平成八年度から継続して進められていたことから、新町新田地内の改良が先送りになっていました。



カーブがきつく、冬は滑りやすい
新町新田地内の県道

橋地内の工事が完了したことから、新しいルートや橋梁の架橋などが検討されているところですが、事業費などの関係から早期の着工は見込めないため、当面の対応策として、平成十四年度に消雪パイプの布設を要望しているところです。

お・ね・が・い

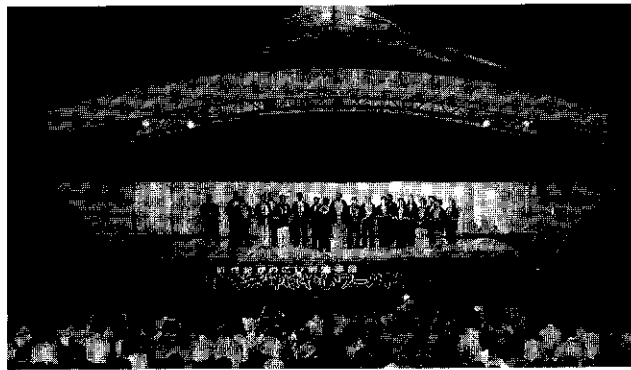
このコーナーでは、皆さんの素朴な疑問や積極的なご提言をお待ちしています。

広報の四月号に添付してお届けした提案用のハガキは、役場の窓口にも用意してありますのでご利用ください。

なお、提案・質問等は何でも結構ですが、個人攻撃や中傷等はご遠慮ください。

また、匿名の場合は、直接の回答ができませんし、紙面でもご紹介できないことが多いことをご承知おください。

荘重にして華麗！ 越後天神ばやし ワールドの世界



夜の空間に浮かび上がるステージで、熱唱が続きました

TOPICS まちの話題 TOPICS

新世紀かわにし創造事業の一環として企画された「越後天神ばやしワールド」は、八月四日、ナカゴグリーンパーク芝生広場を会場に、約千二百人の観客を集めて盛大に開催されました。

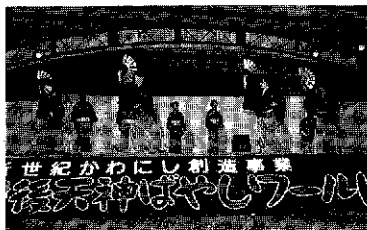
当日は、未明からの集中豪雨があり、準備作業も雨が残る中で行われました。

野外での開催を危ぶむ声も聞かれましたが、「大丈夫、晴れ女、晴れ男たらけだつて、必ず晴れる。」と数日間、野外イベントで降られたことがない。「昨日、天気祭りを盛大にした。」等、各種団体や住民有志など、全町から集まった実行委員の皆さんのマシメ？な思いが天に通じたのか、雨は次第に上がり、芝も乾いて開催に支障はなくなりました。

夕方、五時から屋台村が開店し、お祭りムードが高まる中で午後六時から催しが始まりました。

田口町長のあいさつあと、天神ばやしや伝統芸能の研究者である十日町市の大島伊一氏の講演が行われました。この中で大島氏は、天神ばやしのルーツは現在の千葉

県周辺で、山梨や長野を経て妻有地方に入ってきたと考えられると、研究の成果を披露しました。各地で収録した歌も紹介され、会場からは、「へえー、そつくりだ。」「伊豆大島にもあらんね。」と



見事な舞踊を披露する団体もありました

初めて聞く他地域の天神ばやし（と同じ系譜の民謡）に興味をそそられていました。

午後六時三十分からは天神ばやしの競演となりましたが、今回は、小千谷市三、十日町市五、松代町一、中里村二、川西町五の計五市町村十六団体のエントリがありま

した。各団体とも自慢ののどや息のあつた斉唱、踊りやパフォーマンスも交えて「おらが天神ばやし」をアピールし、観客からやんやの喝采を浴びていました。観客のひとり

は、「天神ばやしばかりで飽きるかと思いましたが、とんでもない。身体が震えるような感動の連続でした。」と興奮気味に話してくれました。

中には、小千谷市岩沢地区のように、大型バスを仕立てて大応援団を送り込み、地区民や川西町の住民との交流を深めるところもありました。

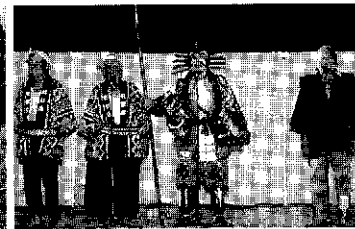
一部と二部の終了後には、アトラクションとして、コーラスグループ「がちようの会」と、「仙田子供樽太鼓」の合唱・演奏がありました。これも豊富な練習を積んだことを物語る内容で、がちようの会は、この日のためにアレンジした天神ばやしの混声四部

合唱、樽太鼓はやはり天神ばやしパーシオンを披露し、盛大な拍手を受けていました。

競演終了後、各部門の審査及び表彰があり、五団体が受賞しました。ただ、この表彰は、あくまでも



屋台村も大にぎわい



中には仮装と語りで会場を沸せる団体も

天神ばやしワールド出演団体

団体名(出演順)	市町村名	賞
①下条天神ばやし保存会	十日町市	賞
②仁田熊野会	川西町	賞
③沖立天神ばやし保存会	川西町	賞
④中里村芸能協会清津峡さざ波会	中里村	賞
⑤十日町新座マラソクラブ	十日町市	賞
⑥岩沢浪漫～天神ばやしの里～	小千谷市	賞
⑦中里村天神ばやし保存会	中里村	賞
⑧小白倉天神ばやし愛好会	川西町	賞
アトラクション(がちようの会)	川西町	賞
⑨真人里地振興会	小千谷市	賞
⑩水沢地区伝統芸能保存会	十日町市	賞
⑪川西町芸能協会天神ばやし保存会	川西町	賞
⑫中条大の坂保存会	十日町市	賞
⑬元町天神舞子の会	川西町	賞
⑭十日町部落	十日町市	賞
⑮松代町犬伏樺の会	松代町	賞
⑯小千谷民謡穂波会	小千谷市	賞
アトラクション(仙田子供樽太鼓)	川西町	賞

唄い方やまとまりの良さ、熱の入れ込み度などを審査したもので、各地区の天神ばやしそのものの優劣をつけたものではありません。念のために、出演団体及び受賞団体は表のとおりです。

ところで、今回の催しは、芸能や音楽、地域活動などを進める団体や個人、町、商工会、JAなどの関係者からなる総勢約六十名のスタッフが支えました。こうしたボランティアの皆さんの力で事業を進める形は、川西町では定着していますが、他市町村からの参加者は、「皆さんが力を合わせる姿に感激しました。うらやましいです。」と感想を語ってくれました。

広域連携も重要ですが、こうした地域内の身近な人の連携が一番大事ですね。

なお、今回の催しを記録したビデオとCDを免費でお分けしています。ご希望の方は、越後天神ばやしワールド実行委員会事務局(役場開発課内)までお申し込みください。☎6813111(内線312) ●申込期限 九月二十五日(火)

完全燃焼！ 十高ナイン&応援団

八月十日、甲子園球場は熱狂の渦に巻き込まれていました。

逆転に次ぐ逆転を続けて県大会を制し、創部五十四年目に甲子園初出場の栄冠を勝ち取った十日町高校野球部は、この日の第四試合で、高知代表の明德義塾高校と対戦しました。

試合は、甲子園の持つ独特の雰囲気にもまれたのか、動きの固さが目立った十日町高校の一、二回の守備のスキをつかれ、七点のリードを明德義塾に許してしまいました。しかし、その後はエース尾身が立ち直り、互角の展開となりま



強打の明德義塾打線を相手に力投を続ける尾身投手

した。終わってみれば、〇―十の大差がつきましたが、得点こそなかったものの、十日町高校も七安打を放ち、無矢策の締まったゲームとなりました。

特に、点差が離れても全力でプレーする十高ナインのひたむきな姿は、応援する側だけでなく観る人すべてに感動を与え、閉会式では、高野連の牧野大会委員長がこれを取り上げてたたえました。

応援も感動的でした。三、五〇〇人収容のアルプススタンドに収まりきれず、内、外野席にまであふれた大応援団が挙げる歓声や歌声は、明らかに明德義塾高校を圧倒していました。守りでも攻めでも、選手達の一挙手一投足に声援を送り、一

糸乱れず切れ目なく続くかけ声や応援歌に、テレビやラジオの解説者も「これはすごい」とうなるほどでした。

前日の夜、バスや列車に分乗して甲子園を目指した応援団は、何度が時間調整をして京都や大阪近郊の旅館、



応援は間違いなく十高の勝ち
—大歓声が球場を包む—

休憩施設等に到着して入浴や仮眠をしたあと、甲子園球場入りを果たしました。

アルプススタンドへは、前の試合の終了後でなければ入れないため、球場の外で整列して試合終了を待ちました。十高応援団が並び始めると、広い広場があつという間に埋まってしまい、係員が間隔を詰めるように呼びかけてようやく納まりましたが、身動きができないほどのぎゅうぎゅう詰めでした。

あるいは、ここでためたエネルギーが、試合の応援に一気にほとばしったのかもしれないね。

選手同様、全力を出し切った応援団は、試合には敗れたものの、最後は充実感と爽快感を抱いて帰途につきました。帰路、校歌を大合唱しただけではおさまらず、天神ばやしを斉唱して、夜通し盛り上がったバスもあったとか。

米を食わずに元気が出るか！

8月23日、総合センターで「じょうぶな心と体はごはんから」と題した講演会が開かれました。

講師は、岩手大学名誉教授の大沢博氏と、川西町での講演は2回目の管理栄養士の幕内秀夫氏。

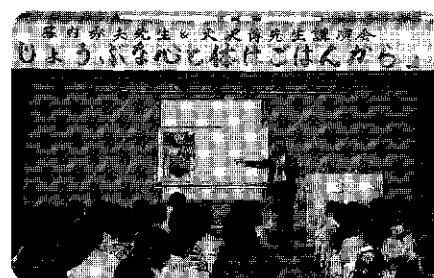
講演の中で大沢氏は、「『気』という字は以前『氣』と書いた。つまり、元気ややる気の素は『米』だということだ。最近、突然キレたり、重犯罪を犯す子どもが増えているのも、米を食わずにスナック菓子や清涼飲料をたくさん摂っていることで、脳の発達が正常でなくなっていることに起因している。」と、食習慣と脳の発達の因果関係を指摘しました。

また、幕内氏は、「昨年の私の講演後、川西町の学校給食での米飯回数が週4回となったのはうれしい。ぜひ週5日の完全実施にしてもらいたい。食の基本は、ごはんを腹いっぱい食べること。子どもは生きるために食べる。したがって、大人と違って子どもには『別腹』はない。みそ汁と漬け物をおいしくす

れば必ずごはんを食べる。ごはんを腹いっぱい食べれば甘いものや清涼飲料は入らないし欲しがらない。おやつを買い与える余裕があったらおもちゃを与えた方がましだ。」と、米食の重要性和効用をわかりやすく説きました。

会場からは、「無農薬有機栽培のものを与えるべきではないのか。」との声もあがりましたが、幕内氏は、「そこまでこだわったら何十年かかるかわからない。大事なのは、戦後、学校給食を媒体として日本人に合わない食習慣が定着してしまったものを、本来の米食に戻すことだ。まず、地元産の米を地元の子どもたちに食べさせることを、最優先にすべきだ。」と強調しました。

会場に詰めかけた約180人の聴衆は、メモをとったりうなずいたりしながら熱心に聞き入っていました。



会場には、お年寄から子どもまで幅広い年代層が集まりました



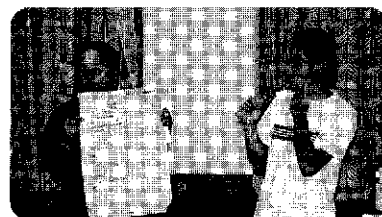
単純だけど奥が深いのが切り絵の特徴

アート体験は一石二鳥？

8月16日、仙田体験交流館で「きりえ教室」が開かれました。講師は、数年前から高倉の民家で活動をしている東京きりえ美術協会会長の木本有太可氏で、地元の子どもたちや、お盆帰りの親子連れなど約30人が参加しました。

「やった～、できた。」これで夏休みの宿題をこなした子どももいたとか、いないとか。

千手温泉オープニングイベントはこれだ！



ワークショップでは、様々な意見が平等に扱われます

八月二十七日夜、総合センターで、「温泉施設オープニングイベント」を考えるワークショップが開かれました。

この日は、千手温泉のあり方を検討

川下りはエキサイティング！

第十二回「川西町自然子ども村」が、八月二十二日から二十七日まで、六日間の日程で行われました。

新潟市や長岡市、上越市といった県内都市圏の子どもたちを中心に、昨年参加した奈良県川西町の子どもたち四名や、町内の小学生八名も参加し、総勢四十四名の子ども村民が共同生活を体験しました。

自分で使う箸づくりから始まって、薪割りや食事作りを体験し、キャンプやホームステイで地元の人たちとの交流を深めました。でも、なんといってもこの子ども村の目玉メニューで、子どもたちが一番楽しみにしているのが浜海川のイカダ下り。

討してきた龍馬の会をはじめ、各種団体の関係者や住民有志約四十人が集まり、十一月に迫った千手温泉のオープニングイベントの意味やその方向について、意見やアイデアを出し合いました。

五つの班に分かれて、個人ごとに出したアイデアや企画案を持ち寄って話し合い、班ごとの企画書をまとめました。これを、芸術イベントやマーケット、体験イベントなど、ジャンル別に分けてグループの再編を行い、さらに検討を加えていきました。

このワークショップは今後も継続され、さらに大勢の力で千手温泉のオープニングイベントを意義あるものにしていく予定です。



未知の体験がチャレンジ精神を育てます

この催しが行われたのは二十四日で、室島地内の浜海川に、竹とタイヤチューブを組み合わせて作った筏を浮かべ、七、八人ずつのグループに分かれて川下りを楽しみました。

「おく、動いた。」「あゝぶつかる。」「あつ魚だ。」「違うよ、石だよ。」「ふだん人気のない浜海川の川面に、子どもたちのはじけるような声が響き渡っていました。」

妻有の空にアートが舞った！ 風が舞う大地の芸術祭 プレイベント

八月十日・十一日にフランスのジャクリヌ・マティスさんという風を使った芸術活動を展開しているアーティストを招いて、第二回大地の芸術祭のプレイベントが開催されました。

十日には、約百七十人の住民が参加し、十日町市立南中学校で、マティスさんやこへび隊三十人の指導のもと、風作りワークショップが行われました。参加者は日本の風と違ったフランスの風作りを楽しみ、思い思いの絵を風に描き



マティスさんの指導で風づくり



竜が舞い上がるようなマティスさんの風

ました。

翌十一日午後、信濃川河川敷で風揚げが行われました。参加者が自分の風をもって駆け出すと、ふわりと空に揚がり、そよ風の中を自由に泳いでいました。中には、風揚げは初めてという子どももいて、最初は思うように風が揚げられないようでしたが、しばらくするととうまく揚がるようになり、元気に原っぱを飛び回っていました。

マティスさんが作った風も揚げられ、子供たちの風に混じって大きな風が悠然と泳ぐ姿は、空飛ぶ竜のようでした。

里創プラン 通信

24

HELLO!
ALITのディナです

五代目のAL

T（語学指導助手）がディナ・フッカーさんに決まり、八月一日に来町しました。

新学期の授業に向けて、資料作りに励んでいるところをおじやましてお話をうかがいました。



授業の資料もディナさんのイラスト入りでとても魅力的

皆さんが親切にしてくれるのがうれしい。これからは書道を学んだり、日本語をしっかりと勉強して地域の皆さんに

打ち解けていきたい。」と、はつらつと答えてくださいました。

写真からも

うかがえるように、ディナさんはとてもチャーミングな女性ですが、芸術に興味があるだけあって、絵をかくのはお手のもの。センスが光っていますね。

カナダのバンクーバーから車で三十分ほどの町にお住まいのディナさんは、スポーツは水泳とクロスカントリースキーが大好きで、なんと少林拳法もしたことがあるという活発な二十三歳の女性です。

日本の食べ物で好きなものは「枝豆」で、「ビールとの相性は最高！」と早くも日本になじんだ発言も…。

ALITになろうと思ったきっかけは、「十六・十七世紀の京都に興味があり、もともと日本の歴史や文学、着物の柄や素材といった芸術的なところを知りたいと思ったから。」とのこと。

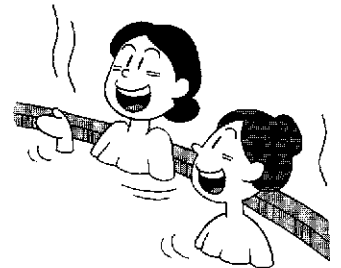
川西町の印象は、「思った以上に大きくて、きれいな町。そして、

千手温泉の

愛称決まる!

現在建設中の新温泉施設の愛称を募集したところ、町内はもとより北は北海道から南は沖縄まで、総数千九百九十二件の応募がありました。審査の結果、次のように愛称が決まりました。

今後は、この愛称のロゴマーク化を図り、皆さんから親しまれ、利用していただける温泉となるよう運営に努めてまいります。多くのご応募ありがとうございます。



◎温泉の愛称

千手温泉

せんねんのゆ
千年の湯

◎愛称の理由

千年も万年も皆さんに愛され続ける温泉でありますように。

◎採用者

同名応募者二名の中から抽選の結果、次の方を採用者とし、他の一名の方を準採用者としました。

◇採用者

小林 栄さん（千葉県鎌ヶ谷市）

◇準採用者

春日紀子さん（十日町市稲葉）

◎採用理由

新しくなる温泉施設が長い年月皆さんに愛され、利用していただける施設となること、ブナの自然林が各地に残っているなど自然環境の豊かな町をイメージできること、二千年紀に完成した施設であること、現在進行中の賑わい空間創出事業全体のイメージ付けの点を配慮したことなどが採用の理由です。

新しい千手温泉は、どんな建物？

工事現場からの報告 No.6



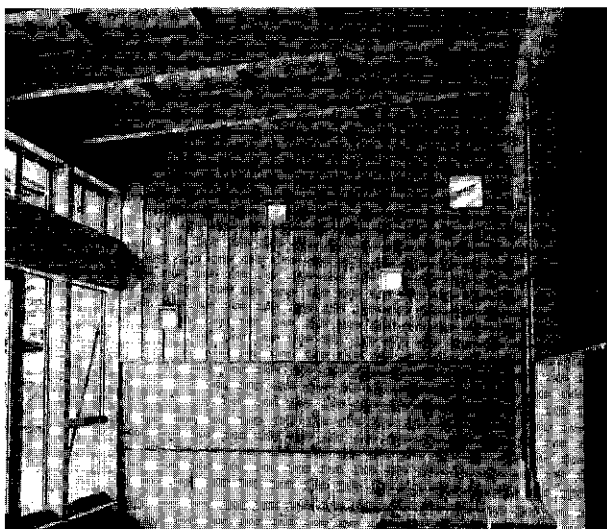
コンクリートの柱が職人の手によって滑らかに仕上げられます

残暑の厳しい日が続いています。現場では、いよいよ室内、外の

仕上げ工事が追い込み作業に入りました。

内部空間の仕上げに、壁のしっくい塗りや、板壁、床のヒノキ板張りなど自然素材を中心とした材料をできる限り使用し、建物全体で湿度などを調節することができるようになっています。

また、温泉施設



ヒノキをふんだんに使った浴室内部

の中心的役割となる浴室の柱や梁、天井、壁などは湿気で腐りにくいヒノキの材料をふんだんに使用しているので、室内全体がヒノキのやさしい香りに包まれています。

同時に井戸水や温泉の熱源など、自然エネルギーを活用した冷暖房システムの工事事も最終段階を迎えています。そして、いよいよ十月初旬には、温泉の源泉を新しい温泉施設へつなぐ工事が行われます。

催し

第四回

かわにし福祉まつり

●日時 九月三十日(日) 正午～午後四時

●会場 川西町総合体育館

内容

- ・ふれあい福祉バザー
- ・赤い羽根チャリティ募金
- ・介護福祉機器展
- ・高齢者疑似体験コーナー
- ・車椅子体験コーナー
- ・介護支援講演会

午後一時三十分～
「大きな家族のように」
講師 デイサービスこのゆび
とーまれ理事長 惣方佳代子
さん

入場料 無料

●問い合わせ先 社会福祉協議会

(☎68-4647)

魚沼地区

動物フェスティバル

●日時 九月二十三日(日) 正午～午後三時三十分

●場所 大和町サイクリングターミナル(大和町荒金)

内容

- ・動物愛護推進大会(長寿動物、愛護功労者表彰等)
- ・各種イベント(純粋犬紹介、警察犬、救助犬紹介、スポー

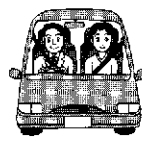
ツドック、ふれあいコーナー、里親さがし)

入場料 無料

●問い合わせ先 十日町保健所
(☎57-2400)

講習

運転者講習会



川西町交通安全協会では、つぎのとおり講習会を行います。

◆期日・場所 九月十四日(金) 千手小学校、十七日(月) 十日町農協上野支所、十八日(火) 橋小学校、十九日(水) 白倉交流センター(旧白倉小学校)、二十日(木) 仙田小学校

◆講師 十日町警察署 交通課 大澤弘 課長

募集

「Hクッキングヒーター」体験料理教室

●日時 九月二十六日(水) 午後六時～八時

●内容 「野菜のおもてなし」

●場所 東北電力㈱十日町営業所 クッキングスタジオ「えぶろん」

●募集定員 十八人(申込者多数の場合抽選)

■参加費 五百円

■用意するもの エプロン

■申込締切 九月二十一日(金)

■申込先 東北電力㈱十日町営業所 お客さまセンター(☎52-3107)

その他

米の生産者の皆さまへ

「計画外流通米」の販売には届け出が必要で

生産者が消費者や販売業者などに直接米を販売する場合は、食糧法により食糧事務所にあらかじめ届け出ることになっています。

この届け出はお米の流通量や流通実態を把握するために必要なものですので、必ず届け出してください。

届け出用紙は、JA十日町、商人系登録出荷取扱業者(大阪屋商店・綿屋)の窓口にあります。食糧事務所に直接用紙の請求もできますのでご協力をお願いします。

なお、食糧事務所への届け出は郵送やファックスでも受け付けています。

▼届け出・問い合わせ先 〒94

8-0004 十日町市下川原町四十四 新潟食糧事務所十日町支所 (☎57-6521・FAX57-6522)

生涯学習だより ⑥

川西町

青少年育成町民会議

近年、青少年を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。非行や青少年犯罪は低年齢化、凶悪化し、いじめや不登校なども大きな社会問題となっています。

これらの要因としては、核家族化や少子化の進行、共働きの増加に伴う

家庭環境の変化が進んでいることがあげられます。特に、本来家庭

は、憩いの場や生活の場であり、青少年の人格形成上からも大切な

場であったにもかかわらず、学校や塾などの外部依存の傾向が見られるようになり、家庭

教育が著しく低下しています。



親子の思いを乗せた紙飛行機が飛び交いました

また、地域社会では個人生活優先などといった社会風潮を背景に、住民の連帯感や地域活動に対する関心が低くなつてきており、地域の中で青少年を見守り、指導する機能が薄れてきています。

青少年問題の対応については、特に、青少年をめぐる問題が社会全体の問題の反映であり、青少年

のみを対象とした対策だけで解決できる問題ではありません。

社会のあり方を親や地域の人をはじめ、町民一人ひとりの問題としてとらえていく必要があるのではないのでしょうか。

そのようなことから、川西町青少年育成町民会議では、青少年を取り巻く社会環境の変化に対応し

ながら、健全育成・非行防止の推進を図り、社会性を身につけ、自立し、創造する青少年を育成していくことに努めています。

その一環として、七月二十一日に「親子紙飛行機大会」を開催しました。

約五十名が参加し、紙飛行機づくりや飛行機を飛ばすことで親子のふれあいを深めました。

13. 9. 10

フット散歩



八月の末から九月の初めにかけて、町内の各地で夏まつりがおこなわれました。各地区とも特色ある催しや参加者があり、それぞれの顔がありました。まつりで見かけた表情を追ってみました。



「もみじ引き子ども版」
こうした経験が将来ムラを支える力になる



「見よ！女のパワー」——糸乱れぬ統一
美は女がつくる



「よし、そこだ撃て！」子どもより大人がアツくなる。それが祭りの夜店



「みこしの不思議」人が乗れば
それだけ重いがそれだけ燃える

「かつぎ手も多国籍」祭りは、ことばのいろいろな国際理解の場だ



ズームアップ役場

No.5

新兵器登場？

でっかい弁当箱のオバケのような箱を持ってぞろぞろと、それをのぞき込む顔も真剣……。

これは、選挙の開票のときに必ず行われる重要な作業のひとつ。職員が手にしているのは、空になった投票箱で、選挙立会人から「投票箱の中に、票も残っていない」ことを確認してもらっているところなのです。

しわぶきひとつない静寂の中、

「直ちに投票箱を開いて査票を開始してください。」

という選挙長の指示があると、二重に鍵がかけられていた投票箱がガラガラがっちゃん、と開けられ、投票用紙がバタバサと査票台に出されます。

そのあと、冒頭の確認作業があり、かたよりがなくなるように投票用紙をよくかき混ぜて、候補者ごとに票をまとめていきます。査票係、点検係、集計係、疑問票係



ところで、今年から開票事務をスムーズするために登場した新兵器があります。それは、スーバーなどでイチゴを入れて売っている、あのイチゴパック。これを候補者数分つなげて票を仕分けするといふもので、なかなかのすぐれモノ。ハイテク時代にあっても、新しいアイデアの素は身近なところにあるものですね。

など、分担をして作業を進め、五十票ごとにまとめた候補者別の束を選挙立会人、選挙長が全員確認して初めて得票が確定します。はつきり氏名が書いてあるものは問題ないのですが、判読が難しいものや按分対象のものがあると得票の確定に時間がかかります。また、白票や、単に雑事を記載したものは無効票となりますが、候補者の氏名以外に余計なことを記載したものも無効になることがあります。たとえば、候補者を応援する言葉を加えたり、○や♡を書き加えたものも無効になります。支持する思いが、かえってアダとなってしまうので注意しましょう。

だんだんとーモ！①

「料理教室くさぶえ」の巻

トントントン…ジャーン…カタ
カタカタ…リズムミカルな音が響い
て、中からほわ…つといい匂いが…



プロの料理人の指導で腕もメキメキ…

「うんめぜのー男の料理は。」そ
う言つて調理室に招き入れてくれ
たのは、平成五年から続いている
料理教室「くさぶえ」の代表、半
藤伊三郎さん（写真正面向き）。

現在会員は十五名ほどで、月一
回の料理教室を楽しみ、昼食会で
は成果を囲んで親睦を深めている
とのこと。「最初は、夫婦で料理

教室でやんだったんだども、なぜ
か男の料理教室になったんだぜ
の。」と語る半藤さんは、天ぷら
を揚げる手つきも鮮やかでした。

この日は、冷やしそうめん、じ
ゃこ揚げ、肉野菜の炒めあんかけ、
鮎の塩焼きが食卓に上がりました。
確かにうんまかった…。



かわいし俳壇

高崎正風選

秋立つと思える風のありにけり
李白の詩杜甫の詩書くや秋に入る
冷房を一人の客に路線バス
新町新田 若山 向山
一呼吸重ね石段残暑かな
落鮎の背に串をうつ余生かな
夏蔵佛の座する句碑の坂
足立区 涌井ハル子
祖父よりの苔むす墓を洗いけり
帰省の娘母の手料理なつかしと
花びらの崩れて蓮の実となれる
岩瀬 登坂伊智子
台風の流れで喜雨とはなりにけり
蜩の鳴くだけ鳴いて死にゆけり
霜条 星名 星光
稔り田に湧きし白羽の稲すずめ
水足せば歓喜の見ゆる金魚かな
練馬区 須藤 遊人
ひと湿り逃がさず大根蒔きにけり
音もなく鎌の刃先に桐一葉
山野田 藤田ひろ志
螢飛ぶ夢を見にけり里を恋う
ペランダにせきれい来居り珍らしき
綾瀬市 野沢ますえ

芒野と変る出畑や過疎の村
ひぐらしに始まり終る水の番
小白倉 田中 優美
蟻の道通りおりし桐一葉
缶ビールブシツと開けて盆供かな
野口 村越 由喜
露天風呂ひやりと秋の風に合う
子守の背濡れたる秋の暑さかな
小白倉 江口みゆき
招かざる蠅も法事の宴に居て
鉄線の額形添えて祖母の部屋
田中町 石澤 澄代
こおろぎの鳴き始めた山家かな
稲刈りの仕度を納屋に調べて
大倉 中條 石平
終戦日要領悪しき兵なりき
鬼灯を褒めて株分け頼みけり
上町 高橋 願似
大根蒔く畠耕す曇り空
落ち蟬を引きゆく蟻の群強し
八王子市 松浦 サク
竹笛の聞こえ来る窓夏夕べ
腰曲げて笑顔の姉の盆帰省
志木市 山田 徳治
稽古終え帰路につく道星月夜
猛暑なる故の蜩聞きのがす
霜条 蔵品ハツエ
明日食べる桃ありければ今日たのし
雨後の土よろこび茄子を植付けし
中屋敷 金子 鉄平

休日救急医

9月16日	小林内科医院 (中条)	52-7155
〃	村山病院 (中条)	63-2111
23日	山口医院 (下条)	55-2003
24日	大島医院 (川原町)	52-2957
〃	津南病院 (津西町)	65-3161
30日	坪井医院 (四日町新田)	57-6100
10月7日	庭野医院 (寿町)	52-2711
〃	中条病院 (中条)	57-3018
8日	田中外科医院 (田中町本通)	52-2403

痴呆の高齢者の介護

痴呆を理解しよう

高齢化に伴って、痴呆の方が増え、六十五歳以上の六・七％といわれています。

痴呆とは、脳の病気のために子どもの頃から身につけた能力が低下した状態をいいます。新しい事を覚えられない、日常生活で今までできた事ができなくなるなどの特徴があります。

痴呆の原因は、主に脳の萎縮によって脳全体の機能が低下してしまふ「アルツハイマー型痴呆」と脳血管障害により酸素や栄養が届かないため脳の機能が低下する「脳血管性痴呆」があります。

高齢者に痴呆の症状が現れたのに気付いたら「もう年なのだから仕方がない」とそのままにせず、専門家に相談することが大切です。痴呆の中には、治りやすい原因によるものもあります。また診断を受ける事で、家族や周囲の人は痴呆という病気に対する心構えができますし、様々な情報やサービスを得やすくなります。その点でも早期の受診が必要です。

痴呆の高齢者は、自分が痴呆であることを自覚できず、以前のようになっているかと思っている事が多いようです。そのため

めに行動を制限されたり子どもも扱われたいとすると、プライドを傷付けられたかと思ひ、感情的になったり、かたくなになったりします。介護にあたつては、否定したり、訂正したりするのではなく、高齢者の気持ちを受容するような対応が必要になってきます。

また、痴呆の高齢者は、自分が今どういう状況にいるか理解しにくくなり、不安や孤独を感じやすくなっています。

話しかけること、スキンシップをとることなどが心の安定につながります。また、痴呆性高齢者ができそうなことを何かしらしてもらい、家族の一人としての役割を評価してあげる事が大切です。

そして何よりも大切なのは、介護者自身の健康です。誰でも、負担や疲労が大きくなると、平穏な気持ちで接する事ができなくなります。また、介護はいつまでという期限がありません。ですから、仕事や趣味などの自分の生活を大切にし、介護サービスを活用し、無理のない介護をしましょう。

町では、家族介護教室と介護者の交流会を予定しています。いろいろな工夫を知る機会となると思ひます。ぜひご参加ください。

戸籍の窓から

高砂一円満に

(高橋) 英宏 中仙田
(服部) 由香 十日町市
(根津) 要 上野
(萱森) 真美 十日町市
(木村) 優一 中仙田
(山田) 仁美 十日町市

昇天一こめい福を祈る

北村 元子 70 (日出太) 山野田
相崎 セツ 91 (武三郎) 中島町
村越盛之助 79 (邦夫) 元町
田村 クマ 90 (本人) 上野
田畑 基徳 85 (本人) 元町
石田 コト 97 (太郎松) 小脇
斉木 和子 93 (和作) 高倉

いづくしよせの

夏から秋にかけて各地で様々な祭りが繰り広げられるが、地域の祭りを統合して個性をなくした「イベント祭り」ではなく、おらはの祭りは、集落ごとの特徴が残っていて、かえって新鮮だ。

神社や集落の人口などにある職(のほり)も、昔ながらの祭りの雰囲気づくりに一役買っている。

上野諏訪神社の幟はとも古い。幅三尺、長さ六間の布に鎮守諏訪



うぶ声—おすこやかに

藤田 優大

数藤 芽郁

滋野 夏葵

田辺 夏菜

片桐 結希

喜多 秀成

南雲 佑希

清水 風

羽鳥 遼平

智一行 南台

和秀 沖立

久美子 野口

幸章 神社町

智広 木落

早苗 学校町

秀夫 中仙田

悦子 霜条

治憲 仁田

(8月1日、31日届け出順)

大明神と墨書されているが、問題はその年号だ。「慶応四年戊辰七月吉日」と銘記されている。慶応四年(一八六八)は、九月に明治と改元された年で、今から百三十三年前になる。古いはずだ。

この年の春、川西の村々は新政府軍と旧幕府勢力の戦い「戊辰戦争」の渦に巻き込まれた。上野も相次いで幕府側、新政府側双方の軍隊の宿陣の場となり。近くで合戦もあって大騒ぎとなった。

その騒ぎから三か月後にこの幟は作られている。まだ、長岡城の攻防戦が行われている頃だ。

「早く戦が終わってほしいー」村人のそんな願いが込められた幟は、今年も、しちんち祭りに使われている。

ちいさな展覧会

153

仙田小学校

「おに車」

4年生 中條将志くん



「雨あがりの虹」

3年生 樋口真央さん



「みんなで楽しく」

1年生 全員



「みんなの大運動会」

2年生 南雲淳美さん



「学級目標」

5・6年生 全員



(10月号は川西中学校です)